

随 想 世界の酒



カット 新谷瑛紀

野性的で マイルド

新谷 瑛紀

△彫刻家△



西洋彫刻の真髄に触れようと思えば、自然に日本の土地から西に動かざるを得なかった。一九六五年、単身ローマに留学。北野町で生まれ、幼少より異人さん、異人ハウスに囲まれて育ったため、いわば洋風文化の空気の中で私の感性が培われたのだろうか、ローマに来て何の異和感も感じなかった。

た。だが、当時はイタリア語が不得手だったためスムーズにローマの人たちとの交流がもてなかった。英語による生活だったので自然にローマのアメリカ人の生活習慣に馴染んでいくようになった。そのひとつの収穫がバーボンとの幸福な出逢いだろうか？ バチカン市国に留学しているアメリカ人神学生たちのクリスマス・パーティーに招かれ、生まれて初めて試飲したのは七面鳥の絵が画いてあるラベルの「WILD TURKEY」というメロウな芳香とマイルドな味わいを持った琥珀色のバーボン・ウイスキーであった。イタリアの彫刻を研究するためには、イタリアに関することすべてを知ることから始まると思いつつ食欲なまでに意欲を燃やしていたから、アメ

リカ産の酒と聞いたただけで、卒直にいつてあまり好きにはなれなかった。しかし初めて口にした時の強力なインプレッションが次第に私の心を魅了し、在欧中もイタリアのワイン、ブランドーと並びバーボンも飲んでいた。合衆国の初代大統領ジョージ・ワシントンが就任した一七八九年にケンタッキー州に住む牧師エリジャ・クレイグがとうもろこしを使ってコーン・ウイスキーをつくり始め、これがバーボン・ウイスキーとして発展していったそうだ。今日ではアメリカの三大ウイスキー（ライ・ウイスキー、アメリカン・ブレンデッド・ウイスキー、バーボン・ウイスキー）の代表的存在となっている。なかでも米政府の重要な財源の一つとなっているバーボンは、フランスからの移民が故国のBOURBON王朝を偲んでつけた地名に由来するもので、一九二〇年から三三年まで禁酒法が実施されていた期間も薬用アルコールとして細々と生きている。そして現在は「原料のとうもろこしが51%、79%、アルコール度40〜80度で蒸留したもの、内側を焦がした新しい白オークの樽で二年以上貯蔵したもの」等と法律できびしく定義されている。こうして出来たのがストレート・バーボン・ウイスキーなのである。男らしい爽快さ・野性味そ

してマイルドな風味、アメリカの開拓時代を偲ばせるパイオニア精神に魅せられて私は今日もバーボンを愛している。

個性豊かな中年野郎が毎月集いバーボンの80プルーフ以上の強いアルコールで肉体を消毒、宮司さんの厄払いを受けて汚れ、罪の多き心身を清めてもらい、ワイワイガヤガヤとグロバルなセンスで語り合う一見楽しそうなサロンも出てくる。(私もメンバーである) ウイスキーを飲み過ぎるとインポテンツになるという俗説もあるそうだ。これは大変、特にものを創る人はポテンシャルがなければダメ。バーボンを飲んで吐きかけられる男性の息のニオイが快いという女性が案外多いらしい。これも私がバーボン・ウイスキーを愛する理由の一つかも知れぬ。ピノ・バーボン!

ワインと 寝^{しつ}け

塩田 正志

△上智大学外国語学部講師△



人類で最初にワインを知ったと

いうノアが飲んだワインも、古代から近世までのヨーロッパ人が飲んだそれも、今日のワインと比較するとおもしろくなかっただろうといわれている。ワインの質が飛躍的に向上したのは近々三百年に過ぎないからである。それにはコルクの利用や高級ワインを買うことができるブルジョワジーの誕生などいろいろな理由もあるであろうが、根気よくワインの質の向上を待ちつつ、ワインを寝^{しつ}ける方法が普及したのが最大の理由であろう。昨年の夏の北イタリアでのこと、イタリアの赤ワインを代表する銘酒バローロの醸造所の一つを訪れた。九月初めの朝、秋の早いヨーロッパのこととて、少し肌寒さを感じるほどだった。声をかけても返事がないままに地下の酒倉に降りてみると、持主である老夫婦が大きな酒樽に梯子をかけ、樽の上の穴からガラスの壺を使ってワインを注いでいるところである。全部の樽にワインをつぎ足したあと二人は私の傍へやってきて、「今朝は冷えたから、こうしてやらないとワインが風邪を引くといけないのね」という。つまり、樽の中のワインが寒さで収縮して空気に触れる面積が大きくなるとワインが劣化するから、つぎ足しによって表面積を小さくするのである。ここでは、栗の樽と榎の樽を

使っていて、ワインを栗で一年熟成させたあとで榎に移してまた二年熟成させる。こうした細かい心遣いは、老夫婦二人にわずかな使用人だけという小さい醸造所だからこそできるのである。一九七六、七七年ものを試飲してみた。主人は私の顔をのぞき込むようにして「どうだ」と聞く。七六年はもうボデイもあり、グリセリンのでも良い。七七年もすでに芳香が生れて将来が楽しみだという。「そうか。お前もそう思うか」と目を細める。子供の成長を待つ親と同じである。

バローロのもう一つの醸造所でのこと。この老主人は奥さんが持ってきた試飲用のグラスを一つ一つ嗅いでみて洗剤の臭いがあるとそれを突き返していた。この醸造所は地下が三階もあって、ワインを徐々に下の樽へ移して行く。一階下ると二、三度は気温が下って、壕に入ったワインが眠っている地下三階の気温は夏というのに十六度ぐらいしかなかった。良いワインはこうした子供を育てるにも似た心遣いから生まれる。まさにワインの「寝^{しつ}け」である。

ただ、酸味や渋味や苦味のバランスも良く、しかもボデイと芳香のある良いワインは良い料理を必要とする。「良い料理は良いワインを映し出す鏡である」と言った

人がある。それもフランス・ワインにはフランス料理、イタリア・ワインにはイタリア料理でなくては楽しくない。神戸には幸い、そういう一貫したレストランが少なくない。神戸っ子のそうした筋を通すところが私は好きだ。例えばベルゲンとかフック(花隈店)とか

紹興酒を

ロツクで

潘 美香

△中国酒家「楊貴妃」▽

中国人は古来より食生活に関しては、とりわけ贅を尽くす国民のようです。中華料理は他に比べてかなりのボリュームがありながら中国人に肥満した人が少ないことでも明らかのように、単に美食だけでなく、漢方薬処方による知恵が生かされており、東洋文化の中心として長い歴史を持つ国ゆえに深い研究がなされています。食事は大勢で円卓を囲み、ガヤガヤと



チャイナ服姿も美しい潘さん

話しながらゆっくり時間をかけて味わいます。こうすれば消化もよく、また何よりも家庭団らんの憩いの場として大切に考えられておりより楽しくより美味しく温和に時を過ごすのです。そして欠かせないのがお酒(もちろん中国酒)。

古い歴史と限らない数を誇る中国酒のうち日本人に有名なのが茅台酒と紹興酒。前者は公式宴席において国賓をもてなすとき、必ず盃に注がれる、いわば国の代表酒です。故毛沢東主席が政權を掌中に治める前のこと、長征の途中に立ち寄った貴州村が、非常に貧しく、自分が覇者となった暁にはこの地酒を国の代表酒とし村を豊かに富ましたい、と胸中に志しそして見事に叶え今日に至っているのです。80度以上ものアルコール度を持つこの酒、毛主席の熱い關志が漲っているようで……。

最もポピュラーなのが紹興酒。

老酒(モチ米を原料に醸造、日本の清酒にあたる)の一種で中国の酒倉ともいえる紹興地方で造られており、最後まで料理の味を楽しむことができるうえ、味覚を麻痺させず、二日酔しないのが魅力です。昔、女の子が生まれた日、その家の瓶に醸造され成長した娘が嫁ぐときに初めて祝い酒として皆に振舞われたという心暖まるいい伝えを持つており今日多くの方に

愛用されています。昨年10月、日本JIC第27回全国会員大会が神戸で開催され、常陸宮殿下ご夫妻がお越しになった時、主管側のご配慮で「海鮮料理(とれたての新鮮な魚貝類を材料にした日本では珍しい中華料理)をご賞味頂こう」と、光栄にも私の夫の宮んでおります「海皇」へお立ち寄り下さいました。海鮮料理と供に紹興酒をお勧めいたしましたら華子さまは大変お気に召され、ご帰京後早速東京店(赤坂)において下さったそうです。

神戸は国際都市であり、中国人が多く住んでいるためか一流(もちろん味の方)中華料理店も多く中国酒の一般への普及も早かったようで、いながらにして本場の味を楽しめるのは神戸っ子の特権かもしれませんね。及ばずながら、私も中国酒家「楊貴妃」というスナックを始めて七年になりますが幸いにも陳舜臣先生その他多くの方々の助言を頂きながらより愛される店に、と努力いたしております。オープン当時、本来熱燗カストレートの紹興酒を飲み易くとロツクでお出ししましたら、今や日本はもとより海外にまでロツクが流行。元祖の本人が驚いている次第ですが、まだお試しになっていない方はぜひ、どうぞノとでもオイシイですよ。

□ある集いその足あと
アサヒビール

神戸スポーツマン ほろにが会のこと

濱永 裕

△兵庫県警察本部・神戸スボほろ幹事▽

カラン・カラン・カラン、
タイムアップをしらせる鈴、全員起立。アサヒビールで洗い流した喉で、蜜声を張り上げて歌う。若い力と「オリンピックの歌」。副会長のユーモアたっぷりの閉会の辞。そして散会の乾杯。毎月第二金曜日午後七時、国際ホテル地下レストラン・ニューコウベをあとに、翌月の再会を約してネオンの街にとけ込んでゆく神戸スボほろ会員たち。

その昔、毎夜のごとく、三宮界隈で顔を会わせていた左利きのス

ポーツマン達が、どこかに集まっ
て、朗らかに騒ぎながら、しかも
できるだけ多く、安く飲める会を
作ろうではないかということ。情
報交換の結果、「アサヒビールが
ほろにが会というのやってるで」

「よっしゃ、その線でいこう」と
いうことになり、昭和四十年七月
に第一回アサヒビール神戸スポー
ツマンほろにが会がスタートし
た。以後今日まで百五十カ月百五
十回、晴雨不問。文字通り、台風
が来ようが、ゼネストや大雪で交
通が不通になろうが、中止された
ことはなく正にスポーツマンの集
まる会としての面目躍如たるもの
である。その百五十回を通算欠席
〇回、入院中には医者を目を掠め
て抜け出すという、涙ぐましい努
力の甲斐あつて全回出席を全うし
ている意志強固？な人もいる。毎
年七月に過去一年の皆勤・精勤の
伝達があるが、その時にもそれぞ
れ十名位は受賞している。

明文化された会則というものは
現在に至るも無く、ただ学生時代
からスポーツをし、現在もそのス
ポーツを愛し、酒に親しめる人間
であれば男女を問わず、会員の紹
介のもとに二カ月間ビジターとし
て出席すれば、入会を許すという
ものである。但し、入会祝として
中ジョッキ七杯以上という嬉しい
条件がつく。

現在登録会員は九十名で、年令
は明治・大正・昭和と三代にわた
り、種目は新聞のスポーツ面に掲
載されるものであれば何でもよく
まして職業にいたっては全く不問
である。

月例会は国際ホテル地下レスト
ラン・ニューコウベで催され、四
月頃には花見の遠足、九月頃には
六甲山でジנגスキャンパティイ
と遠出をして、相互の親睦を深め
また十二月には神戸市内で家族を
含めた忘年会兼クリスマスパーテ
ィーを挙行している。例会では約
三分の二の会員が出席して、一カ
月間のスポーツの成績、仕事のこ
と、友人の消息等、アサヒビール
のジョッキを儲けながら話題は限
りなく広がり、和気藹々のうちに
時は過ぎてゆく。しかし、政治向
きの話と単一学校名だけをあげて
の話だけは禁じられている。

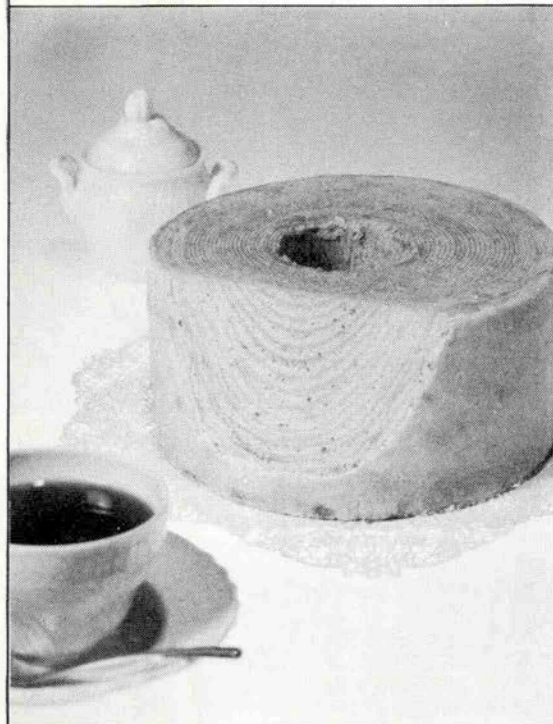
カラン・カラン・カラン 毎月第
二金曜日午後六時かかり、プレ
ィの合図。この合図に一秒でも遅
刻して入場するとペナルティを取
られる。会長の開会の挨拶、一カ
月の会員の無事を感謝しての乾
杯。七時の閉会までの一時間をフ
ルに使ってアサヒビールを飲み、
食事をしながら今日も愉快的な話
がはずんで、昔日のヤングスポー
ツマンの楽しい会は続いてゆく。

●連絡先／会長・高瀬昇（明石市本町二一
七―二三 電話〇七八―九二一六五三三）



我らスポーツマン、ビールで乾杯／<手前、左側が筆者>

大きく育った 味の年輪



パウダークレーン ¥700〜¥3,000

北 欧 の 銘 菓
ユーハイム・コンフェクト

■本社・工場・熊内店 神戸市灘区熊内町1-8(南宝美術館東隣)TEL 221-1164
■三宮センター店・さんちか店・大丸・そごう・阪急・三越・神戸デパート・元町店



き
も
の
工
芸

おんがら屋

神戸

本部・仕入部
本 店
さんちか店
神戸市東灘区青木五丁目一五〇一九
神戸市生田区三宮町二丁目一五
神戸市生田区三宮町一丁目一

電話〇七八―四五二―五二九〇(代)
電話〇七八―三三三―五二九八(代)
電話〇七八―三三三―一七〇〇

東京

銀座コア店
銀座メルサ店
渋谷東急店
日本橋東急店
池袋バルコ店
東京都中央区銀座五丁目八―二〇
東京都中央区銀座五丁目七―二
東京都渋谷区道玄坂二丁目二四―一
東京都中央区日本橋通一丁目九―二
東京都豊島区南池袋一丁目二八―二
(四階きもの小路)

電話 〇三―五七三―五二九八(代)
電話 〇三―五七四―八〇六五(直)
電話 〇三―四七七―三四〇九(直)
電話 〇三―二二一―〇五一(代)
電話 〇三―九八七―〇五六一(直)

背広とマンジン

竹中

郁△絵と文／詩人▽

今まで記念造型物といえば、庶民が見上げるようにこしらえられていた。手で触れられぬように、台石の上にのせてあったり、ぐるりと囲いで囲ったりしてあった。

お寺の本堂の縁側にあるビンズルさんと、天神さんにある金物の牛だけぐらいが、庶民が撫でたりさすったりできた。

東遊園地という方が昔者の私にはわかりよいのだが、市役所の浜側につづく公園の空地にある花崗岩の三つのかたまり。もう一つは兵庫運河の第五橋を南へ渡った薬仙寺の境内の同じく花崗岩のかたまり。この二つは考案者が同じだけに近寄る民衆にしたしみを感じさせる仕組になっている。近寄る人間がそばに立つと、その膝頭くらいまでの高さの石が、平べったく臥そべらせてある。腰を掛けようと思えば、掛けられる。

前者は明治五年に太政官令で官員洋服着用がきまって、百年を経た記念。神戸という土地がいち早く男子洋服の仕立地として名を為したので、神戸の洋服商組合がスポンサーとなって竣工した。作者は山口牧生君ほか二人のグループ。

背広の上衣の身ごろ左側とズボンというのが一つの組合せでキスしてでもいるよう東西に長く置かれてある。もう一つ五米くらい離れて袖が群れ

の一部として在る。前の二個の石との間は人の往来ができる。

この小さな広場を洋服屋の仕事場の裁ち台とも思えば、見る者は忽ち註文主になくなったような想像がわく。そんな発想だ。

上衣やズボンのリアリズムがスポンサーへの遠慮からか、少々ありすぎるのが惜しい。もっと飛躍的な変形があった方がよかった。と、まあ批評家面をしているが、とにかく、商業主義の俗臭は十分に始末しきってあって、作家の創造精神やその手はよごしてはいない作だ。

これと比べると、薬仙寺の方は三十余年前の戦災死をとげた人々への鎮魂が主題だ。詩人の君本君たちの主導調査で、記録もフィルムもできたのを、総合的にしめくくるためのモニュメントだ。彫刻として処理しやすい要素がそろっていたといえはいえる。

北向きに頭（かしら）をおいて、右の胸にでも当る位置にマンジを長目に深く彫りこんだだけ。これで死者供養のエスプリはわれわれ仏教圏に育った民族には十分なサインとして浸透してくる。

朝鮮の東海岸、あれはどこだったか。新羅の王が自分の墓を海中にこしらえさせた。水中にふかく石を沈めて水平に臥かせた形らしい。写真でみ

ただけの記憶だからたしかなことはいえないが、この発想があるとすると、モニュマンを水平に横たえるという方式は古くから東洋にあるのだ。博多の西の今宿村というところへ話をしにいったとき、大杉栄夫婦の墓へ案内された。一字も彫っていない牛の背のような石が大と小、もう一つあの時、甘粕大尉の手にかかった甥の墓が小さく寄りそっていた。この配置の発想も水平に重みがおかれていた。垂直にまとめる発想がわが国で圧倒的なのは、仏教がひろまって、あの塔（スツーパー）思想がゆき渡ったためであろうと思うがどうだろう。

とにかく、神戸市内に戦後いろいろのモニュメ



ントが新設されたが、ただの物真似の凡作愚作の多い中に、背広とマンジの二個は新鮮な気を吐いている。

ただし、文句をつけると、背広の方は赤褐色のタイル敷広場でなく、芝の方がよかったのところがうか。あの瀬戸内海産の白い花崗岩を引立たせるには芝の方がよさそうだ。もっとも芝は冬枯れがあるし、刈込みも必要だから手がやけはするが。

昨夏、垂水の市営墓地から電話がかかった。

「お宅所有のお使いにならん墓地を、お掃除してもらわんと隣接の墓へ草や木がのびて非難がでています」

母が疾うに墓地を買っていたことは知っていたが、毎年なにがしかの管理料を納めるだけで、母の骨も祖先伝来の兵庫の寺の墓へ入れた。垂水の方は見もしないで三十年近く経ってしまっていた。

おそろおそろ息子をつれて鋸や刈込鎌をもっていったら、なるほど草ぼうぼう、小松まで成育している。面積はプレハブの小屋一軒がらくに立つ。売りも、贈与も規則としては禁じられているそう。

いっせ、モニュメントを建立してやろうかと考えた。さて、建立していいのなら、何をどう造型しようか。私だとして十数年前、兵庫高校の庭に沖縄県最後の知事、島田叡氏の鎮魂碑を設計した経験がある。背広やマンジを凌ぐものができるかもしれない。半分冗談にしても、ちょっと乗ってみたい発想だ。

新しい語学教授法LL

田 島 博

△神戸市外国語大学教授▽

「LL」ということは、語学教育に多少なりとも関心のある人なら、だれでも、今日では、知っている。衣服のサイズをあらわす記号にも使われているらしいが、ここでのいうのは、Language Laboratoryの頭文字をとった略語で、録音機の発達にともない、それを語学教育にとりいれた教授法が戦時中アメリカで開発され、戦後、日本に紹介されたが、その教授法で使用するテープレコーダーを主体にした語学練習装置のことである。文部省も近年LLの効果を認めてその普及に力を入れ、大学の新設にはLLの施設をひとつの条件とし、中・高校にもLLの利用をすすめる方針をとってきている。

Language Laboratoryは、はじめのうち、語学実験室、語学実習室、語学練習室、語学ラボラトリー、ラボなどと、まちまちな呼びかたをされていた。現在一般におこなわれている「LL」という略称を用いはじめたのは、実は、神戸外大のわれわれで、昭和三十五年、LLの設置を検討する委員会を組織し、その報告書の中で、この略称をつかったのである。それが、しだいに広まりやがて全国的にもいられるようになって、近ごろでは、外国人の書いたものの中にも見うけられる。

昭和三十五年の委員会発足当時、LLの施設は、全国でもめずらしく、学校関係でそれを備えていたのは、東京の国際キリスト教大学、名古屋の南山大学、近畿では天理大学くらいであった。いずれも、今からみれば不備

なもので、それよりも、あちこちの航空自衛隊の訓練所にアメリカから持ちこんだLLがあり、そのほうがわれわれの参考になった。

神戸外大LL委員会の報告書にもとずいて設計、施工を引きうけたのは、松下通信工業株式会社だったが、松下にとってもLLの製作は初めての経験である。われわれと共同で研究をすすめることになり、採算を度外視してわれわれの注文をきいてくれた。当初は、会社内部でも、LLについての認識は浅く、将来性を疑問視してためらう向きもあったらしい。それを説得して全面的な協力体制をととのえ、昭和三十六年には、ナショナルのLL第一号機が誕生して神戸外大に設置された。

われわれがLL建設の準備をすすめていた昭和三十五年の十一月に、近畿地区大学一般教育研究協議会外国語部会が神戸外大を会場として開催された。その機会に、LL委員会は、その報告書の概要をつたえ、さらにLLによる語学教育の改善につき互いに協力して研究することを提唱した。それが支持をうけて、LLのための全国的な研究組織をつくる世話人会がうまれた。そして、その翌年の九月には、既に完成していた神戸外大のLLをもちいて研究会をひらき、その席上で、「語学ラボラトリー協会関西支部」の発会式がおこなわれた。この時点では、語学ラボラトリー協会には、七月に発足した本部と関西支部があるだけで、他には支部が存在しないとい

う奇妙な形になっていたが、やがて十一月には関東支部が結成され、関東、関西の両支部が本部によって結ばれるという体制が確立した。本部の会長には当時の東京大学文学部長中島雄氏、関東支部長には東京教育大学の黒田魏氏、関西支部長には神戸市外国語大学の学長本田実氏がそれぞれ就任した。

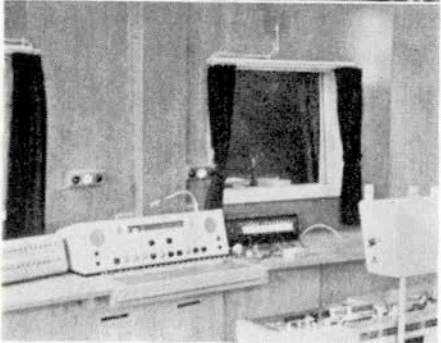
学会を一つ作るということは、大変な仕事で、献身的に走りまわる人が、いく人かいて、しかも時のいきおいに乗らないことには、とてもできるものではない。その点われわれは、めぐまれていた。あの頃は、役に立つ、語学を、という声が高まり、それにこたえる新しい教授法への道をひらく鍵としてLLが注目されはじめた時期にあたっていた。そのうえ、学会の結成に情熱をかたむける若い人たちが、幾人も集ってくれたのである。そのうちの一人が、金田正也君だった。

金田君は、神戸外大の初代学長金田近二氏の子息で、当時は神戸市立鷹取中学校の教壇に立っていたが、父君をしのぐばかりの熱意の人であった。神戸外大の大学一般教育協議会でLL協会の設立をわれわれが提唱するに至ったのも、同君と、その友人で当時国際キリスト教大学にいた鈴木博君とに押しかけられてかわした事前の

話し合いで、われわれが、両君の意気込みに圧倒されてのことであつた。関西支部の発会式には、もちろん両君とも駆けつけて、なにかと面倒な仕事を手ぎわよくさばってくれた。その後の関東支部、そして本部の発足も、両君の尽力をまたなければ、おそらく実現はしていないだろう。

両君のほかにも、LL協会の設立するために、若い人たちが、実によく働いてくれた。とりわけ、天理大学の堀内稔氏、大阪外大の乙政潤氏、神戸外大の平田重行氏など、現在は語学ラボラトリ学会と呼ばれ、関東、関西のほか中部と九州との四つの支部を有し、会員数は千名をはるかに超える学会を育てあげた功績は大きい。

神戸にゆかりの深い金田正也君は、その後大阪の桃山学院大学に招かれ、さらに名古屋学院大学に移って、語学ラボラトリ学会中部支部の創設者となった。鈴木博君も、東大に迎えられて、駒場のLLの責任を担っている。堀内稔氏をはじめ、そのころ協会のために奔走してくれた若い人たちが、今では、それぞれに斯界の権威ある存在となっている。こうした人々が育っていっただけでも、神戸外大のLL建設から出発した語学ラボラトリ学会の意義は大きい。



LLの普及に多大な貢献をした神戸外大LL教室。
上からマスターテーブル、ブース、録音室

★キャンペーン

国際文化都市神戸を

考える



16

ポートアイランドは 市民ひとりひとりの財産

佐野雄一郎

△神戸市助役▽

柏井 健一

△柏井紙業株式会社社長
△神戸経済同友会産業構造委員会委員長▽

鬼塚喜八郎

△株式会社アシックス社長
△神戸経済同友会代表幹事▽

新しい市民社会を展望する市庁舎をボーアイに

柏井 神戸は明治以来、トランスポートেশョン(輸送)

基地として発展して来ました。つまり、神戸経済は港を中心とする人と物の流れに比例して盛衰して来たといえます。ところが、最近輸送手段が航空機に奪われつつ

ある。確かにポートアイランドには世界一のコンテナ基地ができています。しかし、この分野でも将来は航空機輸送のウエイトがますます高くなると思われます。エア

カーゴの需要は非常にスピードで伸びています。したがって、神戸の将来の発展は、ひとつは、今すぐ神戸沖に

空港をもつて来るかどうかという問題は別として、空港と神戸とをどういう形で結びつけるにかかっています

今、大阪は大阪、京都は京都、神戸は神戸なりの位置づけを考えた場合、神戸は日本の窓口として、トランス

水谷 穎介

△都市計画設計研究所社長▽

森本 泰好

△神戸地下街株式会社常務▽

ポーションの基地としての役割をどうしても果たさないといけないと思います。

それにともなう人集めをしないといけない。幸い神戸はポートアイランドをもっているのです。ここに魅力ある町をつくり、その吸引力で人や物を神戸に集め、神戸

経済を振興しなければいけないと思います。

国際化時代に対応して関西新空港とを結ぶエアシテイ

ターミナルを設けて、これを軸として西日本と東日本、さらに世界との接点にしたいと、こういう話が今、神戸

経済同友会の中で出ているわけです。

具体的には次のようなものがポートアイランドに必要ではないかと思っています。

まず、市民の連帯と誇りをもたせるためのシンボルの建設。芸術文化の練習場として、また発表の場としてのオペラハウスの建設。文化と産業の交流、振興のため見

本市都市（メッセ）の建設。ミニミュージアムの建設。文化情報生産のため芸術家集団用のアトリエタウン、マンション工房や即売場をつくり、国内外から多数の芸術家を集める国際芸術村の建設。こういったいろんな話が出てくるわけです。

佐野 我々神戸市側から申しますと、ポर्टアイランドの利用計画につきましては、神戸市だけで決定するのじやなく、二十一世紀の新しい海上都市をどうしたらいいかについて学識経験者、経済界など各界の代表によってポर्टアイランドの土地利用の計画委員会をつくりまして、コミュニティ・スクエアとかインターナショナル・スクエアとかを固めて来たわけです。

一応のプランニングは出来たわけで、これからそれをどう肉づけして行くか。今のところではできるだけ国際的な情報、文化、経済、そういうものの交流の場としてインターナショナル・スクエアを考えている。ここに昭和五十六年の博覧会でひとつのモデルを出してみたい。

将来の神戸の産業、経済の発展のためにはいろんなことが今、不足している。まず情報がますます来なくなるのではないか。それに対応する諸策が欠けているという指摘をいただいております。そういう中で、インターナショナル・スクエアに国際的な情報をどうやって集めるかということですが、映像情報のシステムを考えています。これは、生活情報、国際情報を映像システムで出して行こうというもので、博覧会の「目玉」でもあり、将来の神戸の情報産業の一つとして具体化して行く。

国際展示場、国際交流会館という恒久的な施設も考えています。国際交流会館の中に、国際的な情報、今まで市や経済界がもっているものが一か所に集約できないかと考えています。それ以外に神戸のファッション、神戸の文化、たとえば、ファッション大学を誘致できないかあるいは、お菓子などをファッション・タウンの中に集約できないか、そういうタウンを行政がつくって業者に貸しする。一つのモデルとして今度の博覧会でいろいろ

ると構想を描いていますが、具体的な肉づけはこれから半年以上かかると思います。

森本 博覧会はポर्टアイランドの完成記念じゃなく、ポर्टアイランドのスタートのデモンストレーションですから、あとにいいイメージを残すような博覧会にぜひして欲しいですね。

佐野 来てみてよかった。またここに来ようかという一つの起爆剤ですからね。

鬼塚 ポートアイランドにシンボルとして市庁舎を移したらどうでしょうか。それも行政だけの市庁舎じゃなしに、それをコミュニティの場として、極端にいうと、ミニオペラハウスや文化会館のようなものを一緒に活用できるようにつけてしまおう。市民が文化施設あるいはコミュニティの場として使える。これまでの役所という感覚ではない市役所をもって行けば「核」ができていいのじやないかと思えますね。

柏井 当面の問題としてポर्टアイランドを活気づける問題として市役所の移転がありますね。三万人なら三万人が毎日動くわけですからね。

水谷 今までのような役所ではなくて、市民にとって行政のあり方は何かを明確にするものをつくる。

佐野 市民が集まり、憩う、コミュニティのような市役所ですね。

鬼塚 我々経済界が将来の神戸市を考えたら当然、市役所の使い方としては、従来の役所本位ではダメです。市民とのコミュニケーション、コンピネーションをつくりながらやるというスタイルをここで生み出したら全国でもユニークな存在になるし人も行きやすくなりますね。市民が参画する行政の場所をつくるということですね。市庁舎を政治だけじゃなくすべてに関わったシンボルにして行く。

官民合同の国際化実行委員会が必要

鬼塚 人の流れということでしょう、どうしても飛行場

とのアクセスをどうするかということがある。極端に言えば、今の次元ではいろいろ問題があるかも知分らないがもう一つ神戸沖に飛行場をつくって情報のセンターにする。長期的にはそういうことが出て来ると思います。

柏井 六甲アイランドの利用を考えた場合、その利用をどうするかは、将来の神戸にとって大きな問題ですね。西日本のトランスポート・েশョンの基地としての役割を神戸がどう担うかで神戸の産業構造の在り方が決って来



佐野雄一郎さん

ると思う。それが神戸のもっている一つのポテンシャルといえますか、大阪や京都がどうしてももてないものですね。それを生かして行きながら神戸の将来を考える。鬼塚 六甲アイランドは空港とベアで研究しないと、計画そのものが成り立たないと思いますね。



柏井健一さん

佐野 将来はシェイポートというものを考えないといかんかと、私はそう感じるんですが。

水谷 今、いろんなお話が出ていますが、それをつつ込んで行くための官民一体の国際化委員会みたいなものをぜひこの際つくる必要があるという気がする

当面の問題として一つ考えられるのは、神戸にもっと若い人が集って来て勉強をする、勉学の町としての神戸をもう少し評価したいのじゃないか。中国の方や東南アジアの方もみんな神戸に集って来る。インターナショナル・カレッジ・シティという方向が一つあるのじゃないか。中華同文学校とかカナディアン・アカデミーとかその素地はある。

それから経済と文化の「核」としてのポートアイランドができていますが、六甲アイランドには技術と研究という背景をもって行くべきではないか。最近、近畿の産業構造ビジョンの中で京都に研究学園都市構想が出ているのですが、内陸型は確かにあそこでもいいかも知分らないが、臨海型の研究、特に瀬戸内海全体の臨海型の産業構造の研究基地は六甲アイランドにつくることを積極的に提案して、獲得して行くべきではないか。

もう一つは、行財政の問題に関連してこれからの経済は国際的に資本主義と社会主義の交流の中でというポイントが一つあると思います。そういう意味で、香港とかシンガポールといった町の経済構造をもっと勉強する必要がある。

佐野 ポートアイランドには留学生会館をつくるということ提案しています。留学生を中心にした若い人の集まる場所をつくって行かないといけない。

森本 もう一度ベイスックなところへ議論を戻してみたいのですが、一九八〇年代の課題は文化創造、文化の産業化、いわゆる生活のソフト化だということはどうやら定説になって来ているとみていいのじゃないかと思うのですが、そういう時代になればなるほど、神戸は一方の旗頭として存在して行ける。ということは、神戸は独自の生活文化をもっているという意味で一つの分野がはっきりとあるのじゃないか。その「核」としてポートアイランドなり六甲アイランドなりがいわれているわけです。文化という点、片一方ではそういうことが定説になって来ているのに、まだ、それが経済と関係あるのだから



鬼塚喜八郎さん

うかという意見が依然としてある。

私ども流通業界で見ると、昨年のヒット商品でも日経の流通経済部がまとめたのを見ると、全部ソフト商品なんです。ですからひと頃のように大型のヒット商品はないけれど、新しい価値観というか、生活の多様化



水谷頼介さん

をにらんでどこかにターゲットを絞った商品が当たっているわけですね。これはいい方を変えたら技術じやなしに文化力の勝負だということです。ですから何か「サムシングニュー」が要るわけだけれど、それをつけるのはやはり文化力だということ。逆にいえば、文化をクリエイ



森本泰好さん

トしないと財布のヒモはゆるまない。そういうことからいっても、極端にいえば、現在、文化産業以外の産業はあるのだろうかといってもいいぐらいだと思います。そのときに一ついえることは、これは日下公人さん（日本長期信用銀行）も指摘しておられたことだけれど、いわゆる中央集権ということは能率は非常に上るけれど、文化的には「砂漠」だと。これは歴史なり風土なり生活なりとつながらないと文化は育たないということだと思ふ。そういう意味では、神戸が独自の生活文化をもっているということを軸に、これを生かしながら近畿全体にもプラスになるような方向を打ち出して行かなければならないのじゃないですか。

私がかつてポートアイランドを「ニューハート・オブ・コウベ」だと申しあげたが（旧居留地を「オールドハート」と見て）、これを起爆薬にして新しい神戸の新しい分野を開発して行くことだと思ふ。

もう一ついいたいことは、人間の知恵は情緒と連動するとよくいわれますね。だから知的活動を盛んにするには環境づくりが大切だ。そうしないと人も集まらない。ポートアイランドの町づくりでそういうことも考えていただきたい。もう一つは特に経済界にお願いをしたいんですが、ぜひ経済界側から、小さくてもいいから何とかアクションを起こしていただきたい。そうしないと難しいんじゃないかと思う。地域があつて企業があるわけですから、企業の利益の一部の地域還元をぜひお願いしたいですね。

ポートアイランドに第三セクターの設立を

柏井 神戸はミニ東京を目指すとかミニ大阪を目指すのじゃなく独自の歩き方をしないとダメだといえる。ポートアイランドに新しいユートピアといいますが、新天地が開拓されつつあるということで、これをうまく利用して神戸の特徴を生かしたものを神戸の中につくって行く。経済界も行政も一般市民もみんなをその気持ちへ引

っ張って行くようなことをしないといけない。

ポートアイランドを愛に切り売りすると大変なことになる。第三セクターというものをつくり、一たんそこで買い取って土地の開発などについて市の合意を得て、これをうまく次に譲って行くというシステムができないものでしょうか。第三セクターで維持管理する。長期的な総合開発的な協議会をつくるという話もありますが、官民合同でもいい、何か全体を運営するようなソフト面を担当する分野、これは必ず必要だと思いますね。

佐野 行政側からいいますと、第三セクターというものはごもつともで結構なんです、現実的な問題としてそういうことをどこがやってくれるのかということ、もう一つは、いろんな計画段階はなるほど行政側で進めていいのですが、いざ、肉づけをする実施段階で経済界がアクションを起こしていただいて、こういうものはぜひつくれと、こういうご指示があれば非常にいいのですが、それをつくってもどこが管理運営するかという点では、実際の問題として非常に金がかかりますから、難しい問題がある。行政サイドである程度はできますが、時期が来ますとおっしゃるように第三セクターでやる方がいいと思います。行政は償還しないといけないという宿命です。ポートアイランドの土地を処分をしないです。いつでもかかえているわけには行かないですからね。

森本 一番大事なところだけでもぜひ第三セクターでやって欲しいですね。

水谷 ぜひ第三セクターをつくって、本当の意味の地域開発を担って行くセクション、これこそ官民一体でつくらなくちゃいけない。

柏井 ポートアイランドのソフトの運営の分野でも財界がかなり力を入れて組織体をつくりあげる。もちろん行政との協調が大事ですが。そうしないと施設そのものの運営も将来うまく行かないし、変な形で切り売りされてしまうと、これを元に戻すのは大変なことですからね。鬼塚 これは神戸財界の有志という形で結束しないとい

かんだろうと思いますね。行政でやっていただけの範囲は限定がある。神戸は他の都市には見られないような優秀な行政指導をやっていたにしている。当然、それを早く受けてモノにして行くように地元の経済界が立ち上らなかつたといけない。それをどういう形にして行くか。その意味では土地関係から入って今後の活動が起しやすいい基盤をつくってしまおうということは非常に重要だ

森本 ポートアイランドの企業誘致にしても、行政も財界も一緒になったそういうところで引張ってくるという手が出て来ると思う。企業誘致にも違った展開ができると思う。

柏井 やり方によっては第三セクターだってやれないことはない。ポートアイランドの土地の将来の重要さを認識してもらえばできないことはない。やってやれないことはないと思います。ただ、そこまで意欲を燃やしてもらえるかどうかということですね。ぜひ燃やして欲しい。鬼塚 どこかで旗上げをしないといけないわけですよ。水谷 そうですね。これは神戸が総力をあげてやらないと。器をつくっても中味がともなわないとね。

佐野 国際交流会館とか展示場であるとか、“核”になるものは市の方でつくりますので……。

水谷 ポートアイランドに市民としての財産をどうつくって行くか、市民の財産をどう運営して行くか、そういうプログラムが必要ですね。

鬼塚 ポートアイランドは市民の財産だということに大きな意義があるわけですよ。

柏井 ポートアイランドは我々神戸市民のものだ、という意識が必要だということですね。

水谷 今度の博覧会で、これからの行政のあり方、これからの市民の財産をどうつくっていくのかという提言を含めて、みんな考えて、みんなで身銭を切って出品するようなプログラム、市民文化館みたいなものをやってみたらどうでしょう。ポートアイランドは市民の財産だという認識が今、一番大事だと思います。

田崎真珠株式会社

取締役社長 田崎 俊作
神戸市暮合区旗塚通 6-3-10
TEL (078) 231-3321

オールスタイル株式会社

取締役社長 川上 勉
神戸市生田区伊藤町121
TEL (078) 321-2111

カネボウベルエイシー株式会社

取締役社長 福岡 必三
神戸市生田区三宮町1丁目17-4
センタープラザ東館 8F
TEL (078) 392-2101

ペニヤ株式会社

取締役社長 松谷 富士男
神戸市生田区三宮町1丁目54
TEL (078) 332-3155

モロゾフ株式会社

取締役社長 葛野 友太郎
神戸市東灘区御影本町6丁目11番19号
TEL (078) 851-1594



キャンペーン「国際文化都市神戸を考える」の
企画は以上5社の提供によるものです。

経済ポケット ジャーナル

★神戸青年会議所 新役員決定

来たるべき80年代のために、より確かなものをつかもう、とスタートした神戸青年会議所（理事長・井植貞雄）の七十九年度役員が次の通り決定した。



井植貞雄理事長

理事長／井植貞雄 副理事長／大森繁基、小川博、奥田晃一、寺崎繁幸 専務理事／中右靖雄 監事／浅木幸雄、清田征三郎、林正典 専務理事／中右靖雄 常任理事／亀井清一郎（総務室） 五代友和（開発室）、塚本哲夫（長期計画室）、則岡弘士（国際室）、宮本曠敬（会員室） 理事／寺本勤（総務）、樫野淳一（渉外）、多賀重徳（広報）、斎脱安宏（例會）、塚本勝規（会員交流）、河野賢三（会員拡大）、大崎恵逸



△指導力開発、△広垣良奉△社会開発、△尤昭福△経済開発、△石田信英△都市開発、△井上行夫△国際問題、△植村孝一△国際交流、△和田善弘△地域問題、△佐々木和彦△企画、△吉田憲司△セクレタリー、△直前理事長／三木重昭 法制顧問／桜井良和

★経済同友会代表幹事に 石野成明氏

神戸経済同友会では鬼塚喜八郎氏△神アシックス△代表幹事が任期満了。その後任に石野成明氏△石野証券社長△が選ばれ、留任の大西胖氏△川崎重工工業常務△との新コン



石野成明代表幹事

ビが誕生した。代表幹事は大企業、地場企業から一選ごとにそれぞれ一人ずつ選出し、二年間の任期。

石野氏は、大正十五年生まれ。京都大学卒業後同社

に入社。神戸青年会議所理事長、神戸経済同友会労働部会長、同企業経営部会長を歴任。五十一年四月から同友会常任幹事をつとめている。

★石野証券、東京神栄証券 神栄証券の三社が合併

東京神栄証券△本社東京・宮本三郎社長△と石野証券△本社神戸・石野成明社長△そして神栄証券△本社神戸・渡辺勇夫社長△の三社が四月一日付で合併し、新しく「神栄石野証券」として発足することが決定し社長に石野氏、会長には宮本氏が就任の予定。資本金は三億二千万円。

これによって着実に基盤を拡大してきた石野証券や神栄証券は、証券の中央舞台である東京に進出、つまりは経営効率化につながりまた東京神栄証券にとつて

も関東に限られていた営業基盤が関西にも拡がり、大証でも売買できることになり、全国でも有数の中堅証券の誕生となる。

★玉井操氏永眠

玉井商船社長の玉井操氏が昨年十二月二十三日、急性心不全で死去され、二十五日、兵庫区の藤之寺で告別式がとり行なわれた。喪主は長男の神戸船渠社長、玉井新吉氏。



故 玉井 操氏

同氏は四十一年から四十七年まで兵庫県公安委員、また三十九年から神戸商工会議所副会頭、他に公団共有船主協会会長、日本船主協会常任理事などをつとめていた。享年七十五才。

★KOBEOフィスレディ★



山本 明代さん (24)

<ジョン・スワイヤ&サンズ勤務>

スラッパと長身だが実はオットリという感じ、大学時代にクイーン神戸に選ばれて社会を経験。社会人二年生といってもなかなか落ちついていない。つきあい程度のお酒もたしなみ、飲むと愉快になるお酒。さて、神戸永住希望の彼女、結婚は？「したいです。子供が欲しいの。可愛いでしょ」と只今完入中。六甲在住。乙女座。（関西学院大学法学部卒）

刀剣 古美術



南蛮厨子(長崎銀象嵌) ¥870,000

鑑定 買入 刀剣 研磨 その他工作
一カ月仕上 是非ご用命下さい。
お支払いに便利なローンをご利用下さい

刀 剣 元町美術
古美術

神戸市生田区元町通6丁目25番地

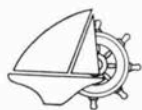
TEL 078-351-0081

海の贈り物



タオル・ナフキンエプロンも
セーラースタイル

2月は贈り物をしたい月。
去年の海の思い出と、今年の海の憧れを
ヨットマンのシャスのオーナーが
心をこめて選んだコレクションの数々。



Marine Boutique
CHASSE

Kobe International Hotel Shopping Arcade (078) 251-8161
Kyoto KINTETSU Annex. 2 Fl. (075) 343-0581

お子さまの幸福を願って...

三月 ひな人形

名匠作逸品が豊富に
品揃いしております



おもちゃの
カメヤ

三宮方面でのお買物は...
ミズカホ店 ファミリータウン
☎391-4045
三宮店 センタープラザ1階
☎331-4969

元町方面でのお買物は...
元町店 元町通3丁目山側
☎331-0900
元町東店 元町1番街本二家側
☎391-0758

神戸駅前方面でのお買物は...
元町店 元町通3丁目山側
☎331-0900
神戸駅前店 神戸駅前地下街
☎351-6002

ソフィスティケートされた貴女に



ハイセンスな神戸のグラスファッション

顕微鏡・天体望遠鏡・航海計器・光学器一般

服部メガネ店

神戸・大丸前 TEL 331-1123